



CANDY BELL CANDY BELL 2

ARMY GODDESS OUTSIDE-STORY

Toumi Haruka
2002.WINTER

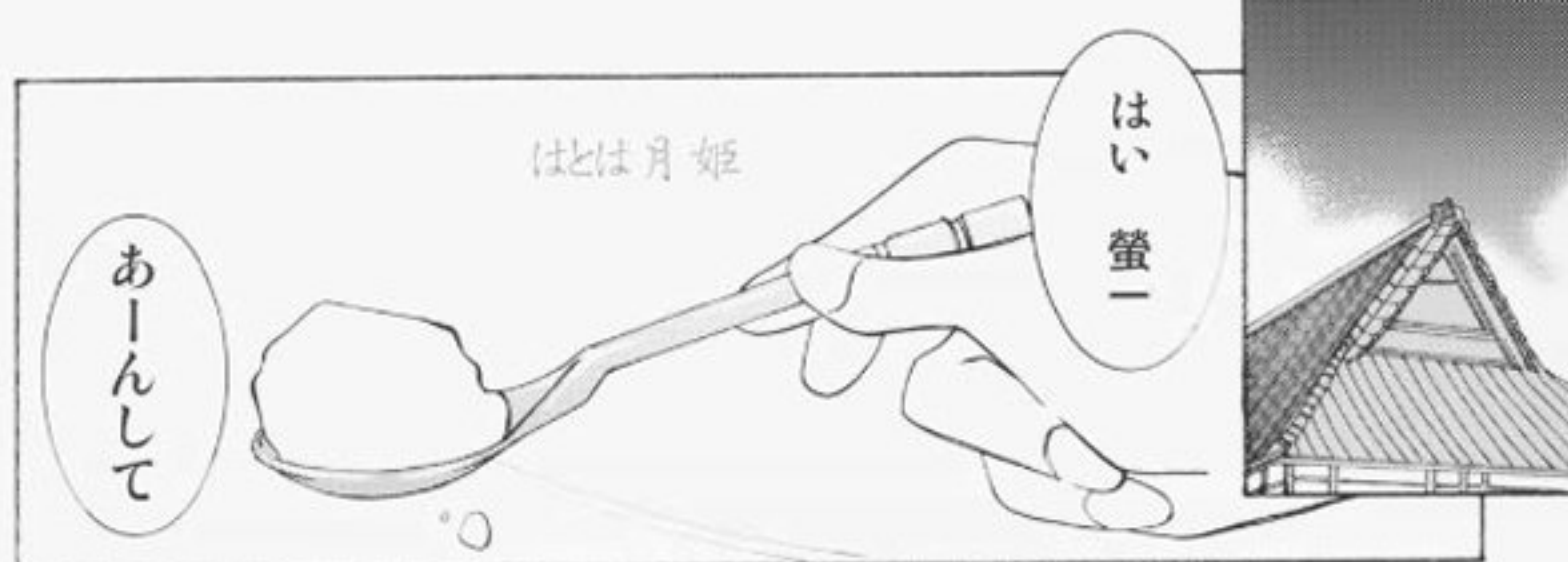


p.05 . . . PM2:10

p.39 . . . PM3:45

The Previous Day
PM2:10





今日も
仲がいいですね
ふたりとも

どうか
しましたか
螢一さん？

…いえ
もう少し…

んー？
今日は随分
大胆じゃない？

ベルダンディーも
とっとう色気に
目覚めたかしら？

そう？
天気がいいから
この服にしたん
だけと…



けーいちこそ
正直な反応
してるじゃないの

…何で
スクールドが
赤面するんだ？

私がドコに
のってるか
わかってる？



え？

まあ
お姉さんは
イタズラしいが
あってオツケー
だけどね

ん
ん



姉さん…

今度から
自分で
お茶をいれて
くださいね…

やあねえ
単なる
スキンシップ
じゃないの

け、螢一さん
麦茶は
いかがですか？

あ、うん
もらおうかな
ベルタンディーの
下着…

ちがうで
しょーがっ
!!

私がパワーアップ
したの忘れた
のかしらね？

私たち
おとしてから
ずいぶん
強気じゃないっ!!

さあ！
ばっちり
食べて
もらうわよ

残したら
おしおき
だからねっ

…暗い
ねてるのか
俺…？

ええそうよ
さっき電話が
あったの

この声…
ああ
ベルダンディー
だな

何だろ
すごく
心地いい…

ええ
休暇が取れた
らしいの

そうね
少し嬉しそう
声だったかしら

明日よ
明日の午後
なるらしいわ

いつもより
ベルダンディーの
声がよく
聞こえるな…

それに
いい香り

どこから？

ああ
あの白
……

白い？

へ…？

大丈夫ですか？

もっと早く止め
に入った方が
良かったですね

反省中

え…

あ…

う…

スクルドが
無理をさせて
ごめんなさい

螢一さん？

わーっ
動かないで
ベルダンディー！

え？

大丈夫
ですか？

いやあの
微妙なトコが
そのっ

わっわっ

食べすぎ
ですから
少し横に…

あとで
お茶を煎れ
ますから

衣擦れの
音が
おとが
おとが…





わかれば
よろしい

「ティールームの掟」
いつの間に
そんなもの…

螢二さん
脚、脚っ
あ、あ

一、
ティールームはみんなの憩いの場
汚さない、壊さない、騒がない

二、
ティールームはみんなのスペース
特定の人たちで専有しない

三、
ティールームは共同の場
チャンネル権はゲームで決着

三、
ティールームは歓談の場
日中の情事は厳禁！



ベルダンディー

は、はい



ふっ



よく聞いて
おけよ
スクルド

今から俺と
ベルダンディーは
えっちをする！

え？

今から
ヘルダンディーを
台所へ連れて
行くからな

え…

そこで
着ている物を
一枚一枚
脱がせるぞ

もちろん下着
まで全部
脱がすっ！

ヘルダンディーを
昼間っから
すっほんほんに
してやるからな

え？

わかった？

はい？

ちよっとおっ
お姉さまの前で
なんてこと
言うのよ!?

あの…

あーありや
打ち所が
悪かったわ

イツちやっ
てるじゃないの
目がさ





ご、ごめんなさい
螢一さん様子が
おかしいから向こう
で話を聞くわね

と言う訳で
これから俺たちは
えっちな事を
する！

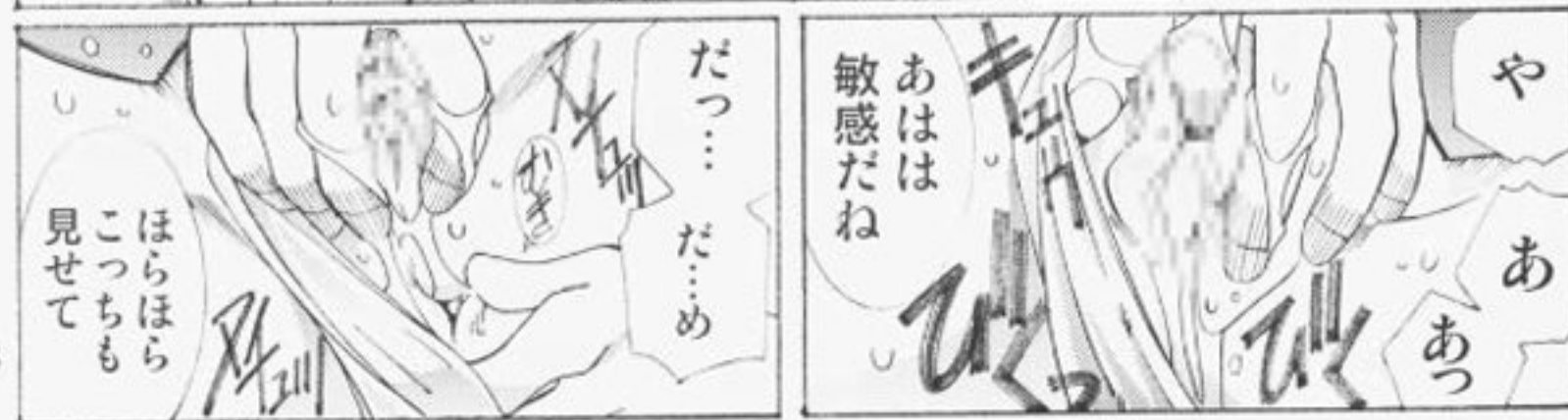
場合によっては
君たちに姪ができ
るかも知れん！

あとでみんなまで
お茶にしましょう

くれぐれも
覗くなよ
特にスクルド

子供には
まだ早い

きいーっ
何言ってるん
のよ もうっ



よつと…

どうかな

とつても
やわらかく
なってるね

んっ

ん…

ああ…

入口はきゅって
すぼまるけど
その奥はじわって
締めつけてくる

あ…

あの

ん？
なに？
どうしたの？

は…
恥ずかしい
こと
言わないで
下さい…

こ、こんなに
明るい場所で

そんなこと
言われたら
私…困ります

あっ

舐めていい？

だってほら
こんなに
垂れてるよ？

あっ

あっ

けい…

だっ…

め…

そん…

なあ…





そろそろかな

いれようかな

俺のモノ

どう
しようかな

今日も
ここを
汚したら

け…螢一

さん…

ベルダンディー
は怒るかな

ど…

どうぞ…

私の…
おまんこ

螢一さんので
…汚して

あ…

すごい…

は…はやく
ください…

やっとえっちな
言葉を言える様
になったね

ベルダンディー?

け…螢一さんの
こ…これを

駄目
もっと言葉が
あるよね?

ち、
ちんぼ…を
おまんこに

ほらもつと
おねだり
してみて

おまんこにー

私の濡れた
おまんこに
啜えさせて…

ほしいです

はやく挿れて

腰を動かし
たい…の

だから

ほ…ほら
ベルダンディーは

螢一さんの
ちんぼが
ほしくて

こんなに
よだれを
流してます
…よ







あつ

あつ

ああつ



知ってる？
こうやって
ベルダンデーと
するのは

ぶっ

すごく
気持ち
いいんだよ



優しい君が
おしりを
見せてると

まるで
無理矢理
犯してる気が…

だから
俺もだんだん

その気に
なって

ぶっ



…わかる？

…何だか悪戯を
思いついた顔を
していますよ？

やっぱり
永く一緒に
いると違うね



そうだ

えっ
なにか…う？



けっ…
螢一さん!?

そんな
変質的な
こと……!!

うん ほら
ない具合に
なったら？

……こっちも
必要だね

だめっ

うんっ
ん

んっ…

そっ…っ

あっ

うん

んっ

け、
螢一さん…

ひびく…

ひびく

ひびく

ほら
いい感じだ

はああ…

だんだん
その気に

なってきた

ごめん
苦しかった？

螢一さん…
突然なんて
ことを…

おなか
こわれちゃい
ます…

うん…

んっ

ふっ

うんっ

け…けい

ち…さん

ああ…
螢一さん…

ごめんなさい
私…わたし…

さっきは
ひどいって
言ってたのに

私の
螢一…さん

螢一さんに
なら…私

あ…

ん…



ごめんなさい

ああ…
もっと…

もっとう？
してほし…

はっ

ほら
俺のだよ

ベルタンディーは
これが好きかい？



あ…あ…
私の手の中に
螢一さんが
います…



あ

んっ

ふっ

はっ

あっ

おっと
そんなにこすり
つけないでよ

ベルタンディー
ので汚れると
思わない？

ごめんなさい
私勝手に

俺が？ 君ので
へとへとのごまに
挿れたいって？

ちよつとやらしく
啜えればそれで
悦ふと思った？

きつと君は
俺がどんな相手
でもやっちゃうと
思ってるんだね

螢一さんが
したいの
だと思って

そ…
そうですね
ごめんなさい

そんな…
本当に
ごめんなさい

い、いえ
そんなっ

ベルタンディーも
本当は男なら
誰だって
いいんじゃない？

わ、わたしは
そんなこと
そんなこと…

案外もう誰かの
こうやって
ずっほり…

ちがいますっ
私には
螢一さんしか
いませんっ

まあ
それでも
いいけどね

ちが
います

スクルドほど
締まりが
いいわけじゃ
ないし

あっ

えん

かわいい
人形…かなっ

ベルダンディーは
溜まったら
出させてくれる

ウルドほど
楽しませてくれる
テクニクもない

そう
考えたら

はあっ

えん

うんっ

ん…っ

んんっ

ねっ
ベルダンディー？



け…螢一さん

わ…私
私は…

それでも
…いいです

…たとえ
人形であっても

螢一さんが
望んでくれた
あの言葉…

わたしは
それだけで充分
しあわせてすから

柳

だから
螢一さん

…溜まった
ときにはまた
私を使って
くださいね

私のからだは
螢一さんだけに
許しますから…







けっ
けいいち...

あっ

あん

いっ
あ

ああ

けいいち
さん

あっ
あっ

ああ
あっ



あっ

あ

ん

ん
ん

ん
ん

うん

ん
ん

35



はあ
はあ
はあ...

あはあ
あはあ

だっ
だ
だめえ...





おっと…う？

なんだ
さっきのか…



なんだ
気を失ったのか



!?

ベルダンディー？



ごめん
…ちよつと
悪ふざけが
過ぎたかな



気が
緩んじゃった
んだね



おかげで
もっと君を
好きになったよ

でもね
ベルダンディー



今日は
ちよつとじゃ
おさまらない
みたいだ



ほら
ベルダンデー

早く目を
覚まさないと
もつと
悪戯するよ?

一番を得られなかった
一番大争で大切に求めていたものを得られなかった
だから
これから得るものは
一番じゃないものばかり
それを一番なものとして
生きてゆく
それも
一番大争で大切なものが
争いた 生き方

辛巳はいつも二番目な自分を
見守る
一番を忘れられない自分

The Previous Day
PM3:55



ヘルダンディー？

まだ目が
覚めないかい？

…なんて
無防備な

格好
なんたる



…このまま
しても
いいのかな？

ほら
胸だって
触れるし…

大事な
トコロも
こんなだよ？



ああ…
ぬめぬめと
つつんで…

ほら…
おまんこに
いれるよ



おっ…
よし
奥まで

はあ…
なんて
あつたかい



何度も
何度も

犯して
犯して

汚した
からだ

なのに…



どうして
こんなに

たまらなく
なる…っ

俺ので
こんなに
なつて…

ベルダンディー

なんて
なんて

愛らしい
…!

もっと
近くに

側に…!

き…
君は…

誰にでも
やさしい
から…

自分だけの
ものに
したくなる…

今度は
おしりを
もらうよ…

ベルダンディー



よっ…

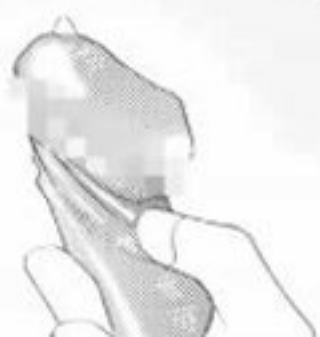


とっ…



ちよつと
遊びが
過ぎるか…

目が覚めたら
驚くだらうな



君は
女神で…

食事を摂ら
ない排泄も
しない…

でも身体
のつくりは
人間と同じだ

だから
君は俺の
ために

人と同じ
ことを
してくれて

きつと
汚れることで
近づいて

くれて
るんだね

それじゃあ
ベルダンディーの
おしりを

汚すよ

ああ…
たまらない
……!

力が
抜けてる
から

余計に…
絡みついて…

君と
つながって
いられる

女神の
おしり…

なんて
やわらか
くて

深くて

あったかい

ほら
こうすれば
もっと深く…

おっ
おっ
おっ...

はっ...
すっ...
すっ...

また
全部
中に...っ

ずっと
奥まで
俺のが...

はっ
はっ
はっ

はあっ
はあっ

ああっ
ああっ
あっ

おお...

やっと
目を
覚ましたね

ん...



ほら
ベルダンディーの
こんななに
開いてさう？

そんなに
恥ずかし
かった？

や…
これ以上は…

これ以上
続けたらきつと
螢一さんに
嫌われます…

だって私
こんなこと
されて…

キスまで
して…

おしりを
抱かれて

それで
感じる
なんて…

怖いんです
私…

螢一さんが
好きだと
言って
くれたのは

今の私じゃ
ないはず
だから…

わかってるのに
今だって
螢一さんが
ほしくて…

ベルダンディー…

…濡れてる
なんて
そんな…



それは同じだよ
俺も欲情してるしさ
キライになる？

それは…
螢一さんが
男性だから…

仕方が
ないこと…
です

でも私は
違うのに…
こんな…
こんな…

螢一さんが
望んだ私じゃ
ありません…



俺はね
どんな姿の君で
も構わないよ

全て
ひっくるめて
最初から好きに
なったんだから

それにさ
俺のために乱れる
君はとっても
…好きなんだ

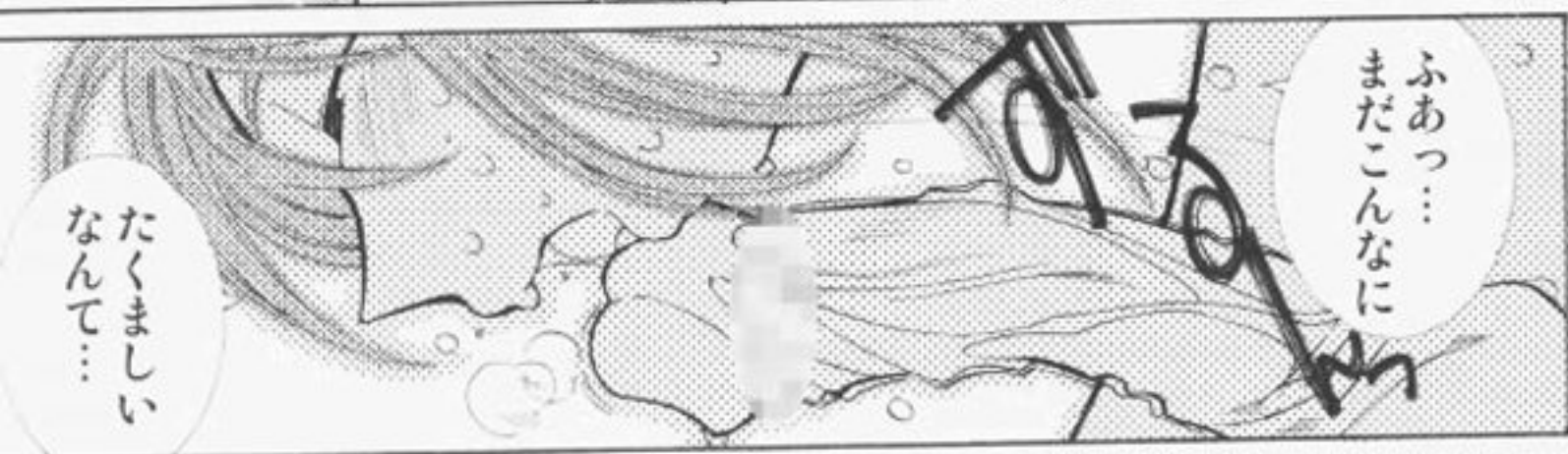
螢一さん…

嬉しい…

今日から
もっと

好きに
なります







あは…
これはまた
念入りな…

すごいよ
出しちゃい
そうだ…!!

……



欲しく
なったかい?

今日は
二人で

こわれる
まで

して
みようか





はい...

...どうぞ





ん うぶ ん

うぶ



!! いくよ



!!

んぐつ

んぐつ

んぐつ

む



はっ...



まっすぐ
おなかに
いったかな...?

はっ

はっ

今日は
特別らしい…

もう少し
いけそうだ

ひる



んっ

んっ

ほらほら
大丈夫かい？

力抜かないと
入らないよ



んっ

んっ

んっ

んっ

おととと
先に
いったんだね

ひる

俺のかな？
それとも…



んっ

んっ

んっ

んっ

もう少しだよ
もう少し
がまんして…

全部
入ったところを
見せて…

んふ—

んふ—

ん—…

ふ…

んっ

ふっ

んっ

んぐ

んぐ

ぐっ

んぐ

カッ

カッ

カッ

んぐ

んっ



いくよっ
いくよっ
そらっ
そらっ

つふ

ふ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



あはは
はは...

足腰
立たないや



大丈夫?
ヘルタンデー
...



あ...
や...

見ないで...
大丈夫...です...

あ：
はは：
度が過ぎた：
かな

…いえ
私が乱れすぎた
せいですから
螢一さんは何も…

ごめん…
ベルダンディーとだと
余計感情が
入っちゃってさ

すいません…
もう大丈夫
ですから…

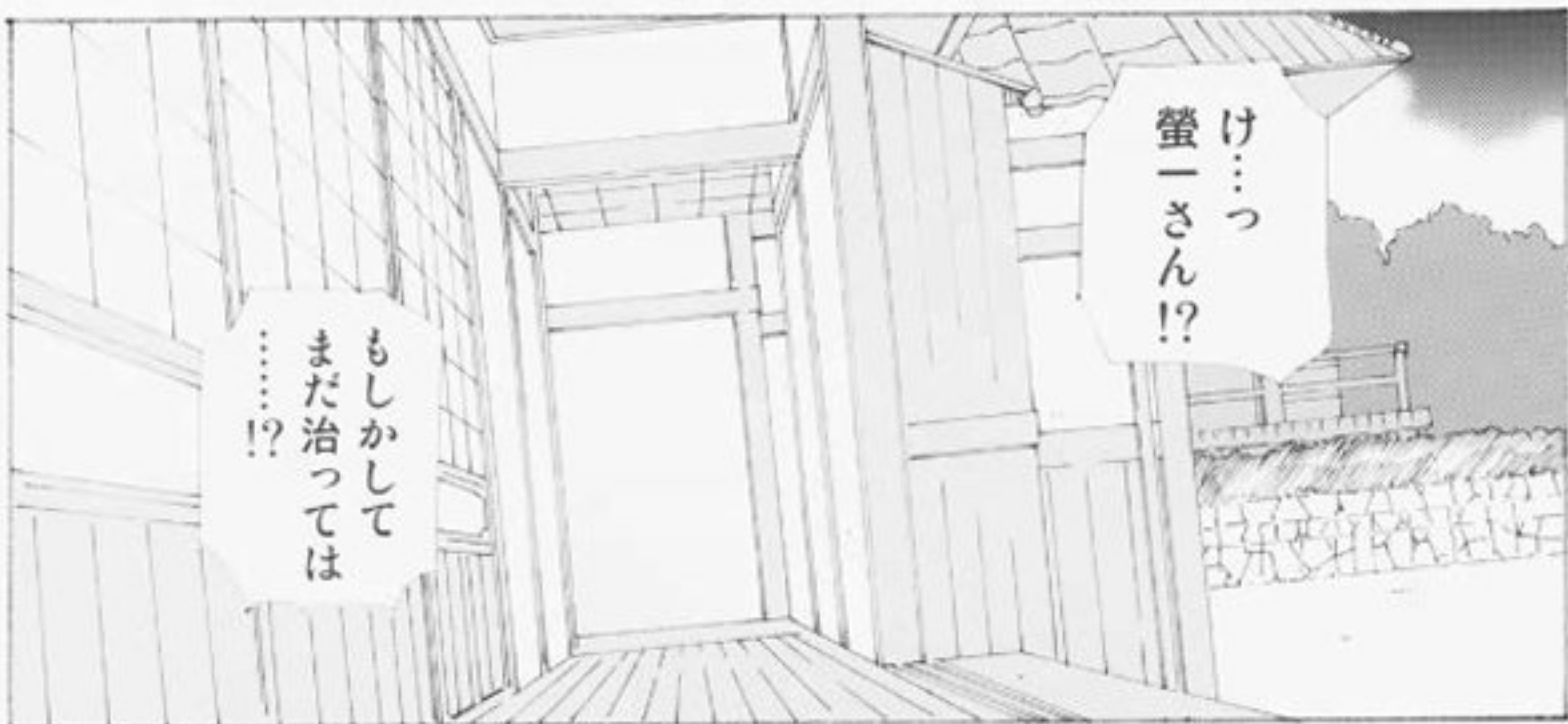
あ…
えと…
螢一さん…

もしかして…
姉さんたち…
にもこんな…？

ウルドたち？
いや？

そうですねか
すいません…







お待たせ
——っ!



えんえん
聴かされる
身にも…



…大丈夫

やっと
終わったようね



ちなみに
本日は新記録を
達成しました
——っ!

さて
ベルダンディーは
何回果てたで
しょ——?



宣言とおり
ベルダンディーと
してきたぞ——っ

足腰立たない
ようなので
今から風呂場へ
連れてきまーす





その後

あー
喉渴いたわー

何でもいいから
飲ませてー

きゃー
姉さんっ

そっちは
だめーっ

は？

あつー
顔でも
洗おうー！

どうしたの
ベルダンディー？

…なんでも
ありません

きゃーっ
スクールド
待ってーっ

END.

冬…ですねー。以前どこかで書きましたが北海道の冬は雪が積もるのでバイクに乗れません。もっとも函館辺りは積もらないので根性あれば出来るかも知れませんが。それにしてもこの時期、無性にツーリングに行きたくなりますねー。失って初めて価値を知ると言うかなんかそんな感じで…。

今年は幸いにもツーリングへ行く事が出来ました。時代遅れのレプリカなんぞに乗ってますが走り屋ではなく、ほーっと流れては消える景色を見ての方が好きだったりします。でも不思議。ツーリング中はいろいろ雑多なことを考えてると思うんですが、後で振り返ると霞んだようなおぼろげな記憶しか残ってないんですよねー。健忘症ぢやないよ？ これってまるで夢みたいだなーと思うときがあります。そんな感覚も悪くはなく、気が向けばぶらっとバイクに跨ってました。まあ、どんなに速く、長距離を走っても手に入るものなんて何もないのに、よくやりますよね。

「こんな絵が描ければ!」とか、「この絵は墓場まで持っていきたい!」とかって思える1枚ってないですか? 私の場合、やっぱり藤島先生の絵だったりします。

まいべすとびくちゃー、それは逮捕6巻121頁(注:パーティーKC第二刷の場合)です。構図、バランス、モチーフ、テーマ、デッサン力、そしてイマジネーション…。

多分にバイク属性があるから色眼鏡がかかっていますが、それでもやっぱり一番好きな一枚、と言えます。何というか、ドラマ性があるじゃないですか。絵の中にあるパーツは決して多くないですが、幾通りも「その先」が想像できる、そのシチュエーション。

いつ見てもわくわくします。なんだか10秒先、振り向いた顔が想像できません? そこに吹く風の音が、バイクの温度が、土の匂いが、乾いた空気の味が、視覚以外でも感じ取ることのできる『絵』。切り抜かれた空間がそこに在る、他と並べて見ることのできない完成された時間、そんな一枚です。逮捕～に流れる血、って多分こんなところに通ってるんじゃないかなー、と思ったり。

どなたか Ar-G (北海道FMローカル局) 聴かれてる方いませんか?
ご連絡、心からお待ちしております。当方へピーリスナー、濃ゆい話を致しましょう。
ドラマがカイ…?

さてさてさて。

今回もお付き合いいただきましてありがとうございました。

上を見れば、こんなえっちな同人誌で語っても迷惑なだけな話もありましたね(笑)。

もっと語りを聞きたいという奇特な方はメールでもして下さい。せまーくあさーく語ってさしあげます(笑)。

それでは今回も、藤島先生、合田監督、女神ファンにひたすらお詫びしながらさよならです。

ごめんなさーいっ。

(代理: スクルト)

(代理: かなり)

— 幕 —

また、どこかで再会しよう——

CANDY BELL2 The Previous Day

発行日 : 2002.12

発行 : RPG カンパニー2

